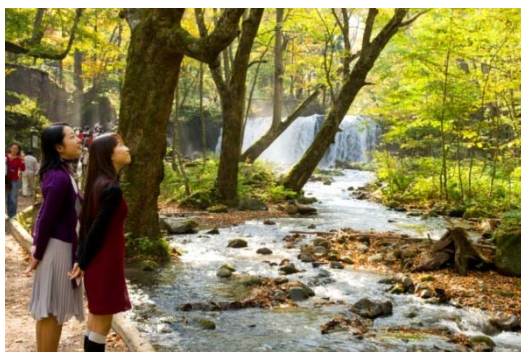


平成22年度 「緑の分権改革」調査事業

委託業務概要報告

(緑の分権改革推進会議第一分科会 資料)

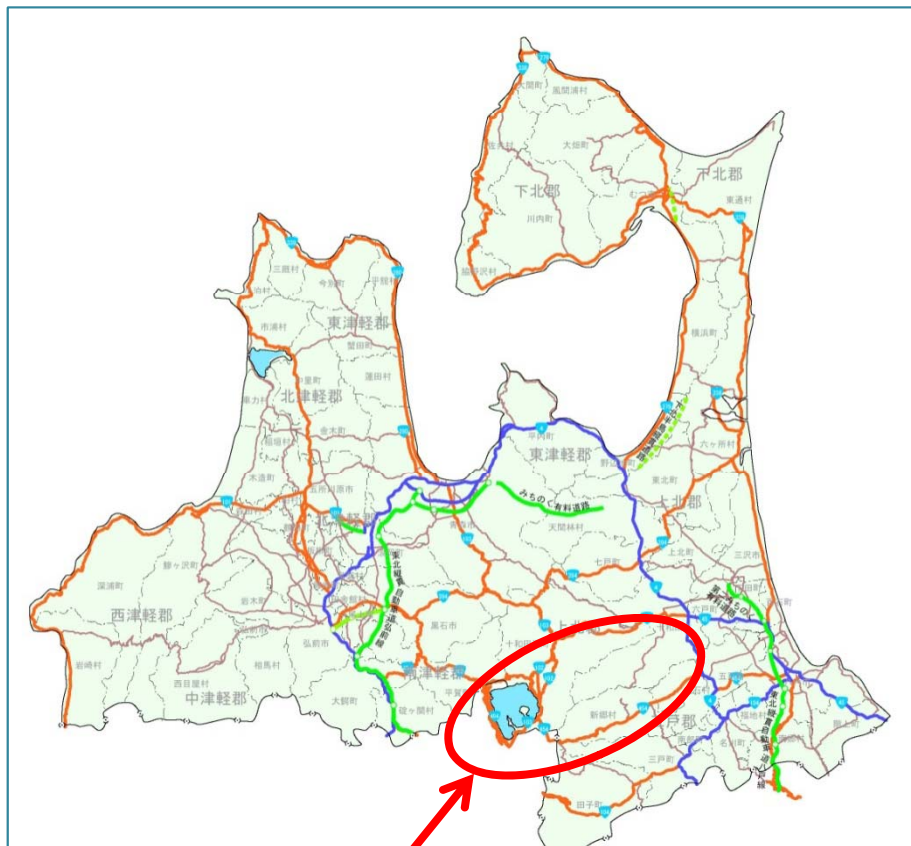


平成22年10月6日

青森県十和田市



■青森県十和田市の概要



- 行政区域面積(平成21年10月1日現在)
725.67km²

資料:国土地理院「平成21年全国都道府県市区町村別面積調」

- 地域指定(平成21年4月1日現在)
過疎地域
辺地を有する市町村
農村地域工業等導入促進地区
都市計画区域
特別豪雪地帯

- 市町村合併について
平成17年1月1日
旧十和田市と旧十和田湖町との対等合併により新十和田市が誕生。



The Official Portal of The City of Towada

十和田市

感動・創造都市

「人が輝き 自然が輝き まちの個性が輝く理想郷」

十和田市の「緑の分権改革調査」の概要

現状・提案の背景	実現を目指していく地域のイメージ	
ライフスタイルの変化がおよぼす十和田八幡平国立公園への観光客が減少。 →地域経済への悪影響と地域活力の喪失 → 地域の自信の喪失 →負のスパイラル	地域に眠る資源を見出し活用することにより、地域の再活性化を図る。 →この地で暮らす人々がこの地域に生き、暮らすことにこれまで以上に誇りに思える地域づくり → 正のスパイラルへの転換	
提案概要		事業見積額 (千円)
①意欲ある若者を地域おこし協力隊員として地域社会の新たな担い手とする試み ②十和田奥入瀬地域における自然環境保全と観光の持続可能な共生のあり方調査		3,000千円

地域ぐるみで奥入瀬溪流の自然環境を見つめ直し、自然本来の魅力と価値を観光客と共有する「エコツーリズム」を基軸として、**持続可能な自然環境保全と観光の共生に向け、官民連携による新たな環境保全策と観光形態を創出・実践し、地域力の向上、そして地域の再生を目指します。**

地域の人材力の強化

取組①「認定ガイドの養成」 NPO十和田奥入瀬郷づくり大学

- ①取組内容
 - ・十和田奥入瀬認定ガイド養成
- ②見込まれる効果等
 - ・認定ガイド制度の先進事例
 - ・エコツーリズム観光受入体制の構築と継続的な雇用創出
 - ・豊富な人材とノウハウを生かした事業展開
 - ・地域コミュニティーの活性化と眠れる地域資源の開発



低炭素社会、環境保全・再生

取組②「パーク&EVライド」 奥入瀬溪流エコロードフェスタ実行委員会

- ①取組内容
 - ・全国に先駆けたパーク&EVライド実証試行
 - ・パーソナル移動体等の導入課題検討
- ②見込まれる効果等
 - ・国立公園での電気自動車利用による、車社会と環境保全の両立、保全意識の醸成
 - ・恒久的なマイカー規制時における代替交通手段の課題整理
 - ・観光地におけるITSとEVとの融合策の課題整理



自然環境保全と地域振興の共生

取組③「エコステーション、シンポジウムの開催」 奥入瀬溪流エコロードフェスタ実行委員会 NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

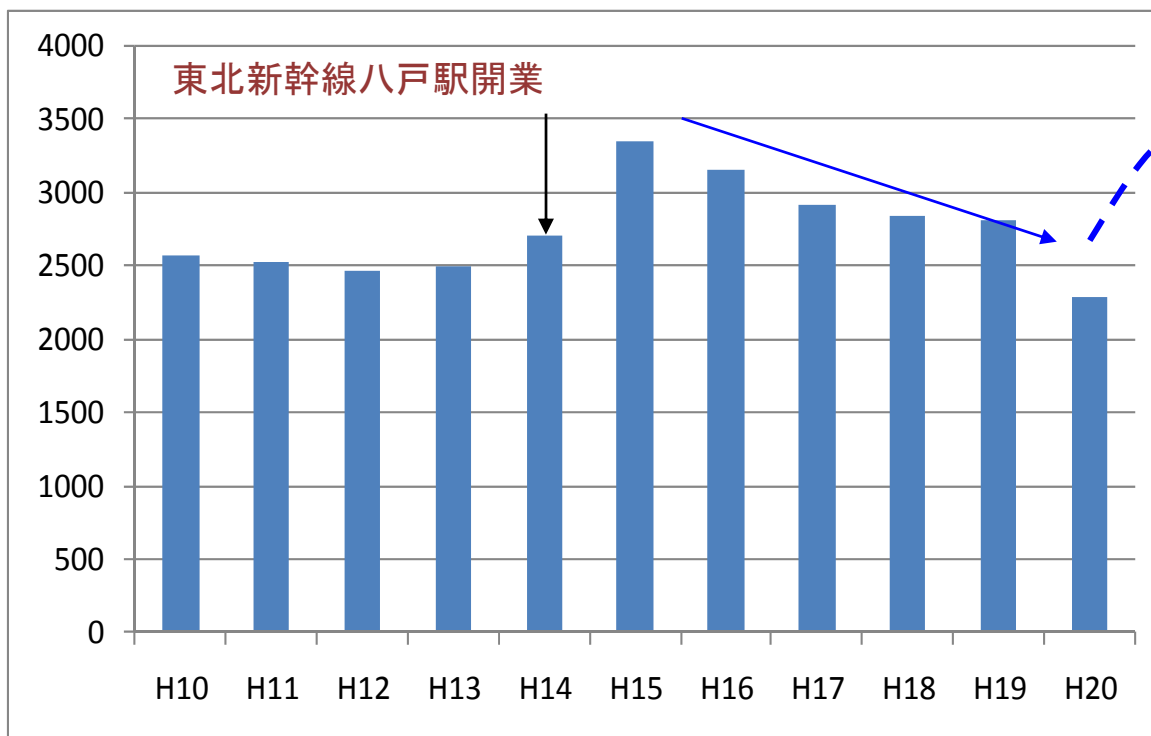
- ①取組内容
 - ・自然環境保全施策等の可能性についてパネル展示
 - ・奥入瀬地域の魅力を地元から情報発信するシンポジウム開催
- ②見込まれる効果等
 - ・地域住民の理解促進とともに観光客を通じて自然環境保全に対する知識の普及
 - ・十和田奥入瀬の魅力と可能性について、地域住民に再認識してもらい、自然環境保全の取組みなどについて、誇りと自信を持って全国に情報発信できる人材の育成とこれによるすそ野の広い各方面への波及効果

奥入瀬溪流観光における観光客の現状

十和田湖・奥入瀬溪流(十和田八幡平国立公園十和田地区)への観光入り込み数

- 平成15年の315万人をピークに減少傾向
- 平成20年は過去10年で最も少なく、229万人(H15比27%減)

十和田八幡平国立公園(十和田地区)入込数 (単位:千人)



H22.12月東北新幹線
新青森駅開業

新幹線のためでは
なく、その後の
維持が必要

出典: H20青森県観光統計概要

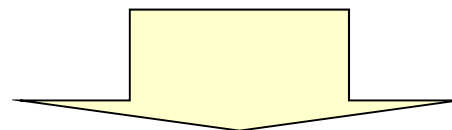
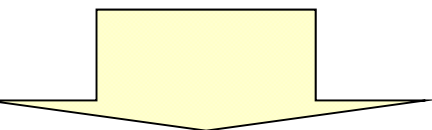
一過性ではない、
持続可能な観光需要創出と維持

これまでの地域活性化の取り組み

従来型観光からの脱却と持続可能な観光需要創出と維持

歩く・体験・滞在へ

持続可能な観光需要創出と維持



自然や文化を「守り」「学び」「伝える」

『エコツーリズム観光』の可能性模索

- 奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会を立ち上げ
 - ・マイカー交通規制中の溪流環境を新たな観光需用創出の好機ととらえる。
- 奥入瀬溪流エコロードフェスタへの名称変更
 - 「マイカー交通規制」による良好な環境を積極的に評価し
 - 「エコロードフェスタ」としてイメージを一新

地域活性化の取組みが目指すベクトル

奥入瀬溪流の自然環境を見つめ直し、本来の魅力と価値を観光客と共有する「エコツーリズム」による、**自然環境保全と奥入瀬溪流観光の両立**を目指す。

取組みのキーワード

エコツアー

電気自動車

人材育成

低炭素社会、環境保全・再生

取組②「パーク&EVライド」 奥入瀬溪流エコロードフェスタ実行委員会
電気自動車等の受容調査(複数車種による試乗会・展示会)、
電気自転車による奥入瀬溪流サイクリングの試行
セグウェイ等によるパーソナルモビリティの受容調査
エコロードフェスタで**実施予定** 等



持続可能な自然環境保全と 奥入瀬溪流観光の両立 エコツーリズムプログラムの確立



地域の人材力の強化

取組①「認定ガイドの養成」
NPO十和田奥入瀬郷づくり大学
昨年度NPOにより創設された認定ガイド制度の養成と
サイクルの定着(一部実施中)
認定ガイドを活用した事業展開の検討と実践
認定ガイドの登竜門となる、サポーター養成講座の開催
エコロードフェスタにおけるガイド事業のニーズ調査

自然環境保全と地域振興の共生

取組③「エコステーション、シンポジウムの開催」
奥入瀬溪流エコロードフェスタ実行委員会
NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学
エコツーリズムフォーラムの開催
平成22年9月26日**開催済み** 参加者 約300名
エコロードフェスタにおけるエコステーション**開設予定**
自然環境を生かした新しい観光等についての展示と理解普及活動

地域力の向上・地域の再生

“自然にも深呼吸”

奥入瀬溪流の自然環境保全のために。
美しい清流とブナ林をゆっくり味わって頂くために。

奥入瀬溪流は、国立公園特別保護地区、特別名勝地、天然記念物の指定を受けている日本を代表する景勝地、観光地です。
私たちは、貴重な奥入瀬溪流の自然環境を保全していくため、官民一体となって平成20年度から「奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト」に取り組んでいます。

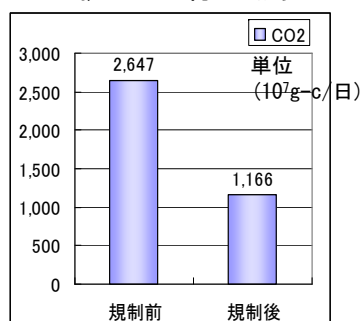
■奥入瀬溪流マイカー交通規制

紅葉シーズンは約1万台/日の車両が集中し、渋滞が発生しています。

溪流通過【通常20分→渋滞時1時間30分】



CO2排出量が約56%減少



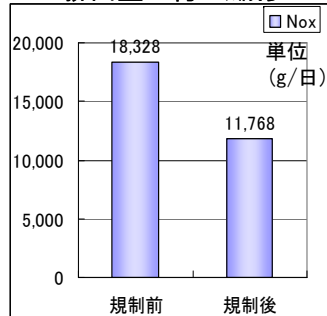
H15,16のマイカー交通規制では、渋滞解消、環境負荷低減の効果があり、観光客からも好評を得ました。



■自然環境保全への理解を得る活動

自然環境保全の必要性や、マイカー交通規制に対する理解と協力を得るため、フォーラム開催や溪流ウォークなどの活動をとおり、官民一体となって理解の浸透に努めていきます。

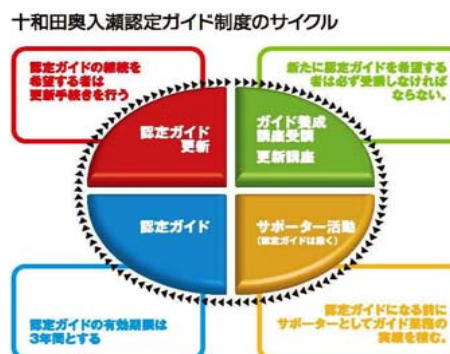
NOx排出量が約36%減少



十和田・奥入瀬認定ガイド(自然解説員)の養成

認定ガイド制度の定着を図り、地域人材力とホスピタリティーの向上を図る。
 サイクルを確立するための認定ガイドの活用策を確立する。
 外に開かれたオープンなガイド制度とし、多彩な人材養成を図る。
 認定ガイド養成を定着させ人材力のアップと他の観光地との差別化を図る。

十和田・奥入瀬認定ガイド(自然解説員)制度の概要(平成21年度創設)



制度のポイント

- 一過性ではない地域に定着した制度の確立
- 前提となる自律的運営体制の確立
- 誰でも受講できる公開制
- 奥入瀬ファンの育成
- 講座ノウハウの活用

十和田・奥入瀬認定ガイド(自然解説員)の養成

人材育成事業の今後の展開と課題

人材育成により今後展開が可能となる有望な事業

認定ガイドを活用したエコツアー

生涯学習における学びの場としての講座ノウハウの活用

首都圏等広く全国に渡る奥入瀬ファンの獲得

地域資源とのベストミックスを進め地域の魅力と発進力の向上

今後の検討課題



・養成講座ノウハウを活用した首都圏向け講座ツアー開発



・地域資源を活用した現地型ツアーの実施体制の検討



・認定ガイドを活用したガイドツアー体制の確立



・エコロードフェスタ期間における関連ツアーの継続的な実施体制の確立

低炭素社会、環境保全・再生

奥入瀬溪流の環境保全とモビリティの確保

奥入瀬溪流のマイカー規制により創出される環境を誰もが楽しめる方策の検討

新しい観光システムの検討



・電気自動車に対する受容調査
試乗&展示



・新しい移動手段の提案と課題調査
試乗&展示



・電動自転車における溪流利用の商業化調査
一部レンタルによる実施

マイカー規制時における交通システムの検討

自然環境保全と地域振興の共生

奥入瀬溪流における自然環境保全施策と地域振興に関する情報発信

奥入瀬溪流の魅力を地元から発信するフォーラム開催

エコロードフェスタにおける環境保全の取組みや新たな魅力創出等について情報発信



エコロードフェスタでの情報発信(H22. 10. 30、31開催予定)



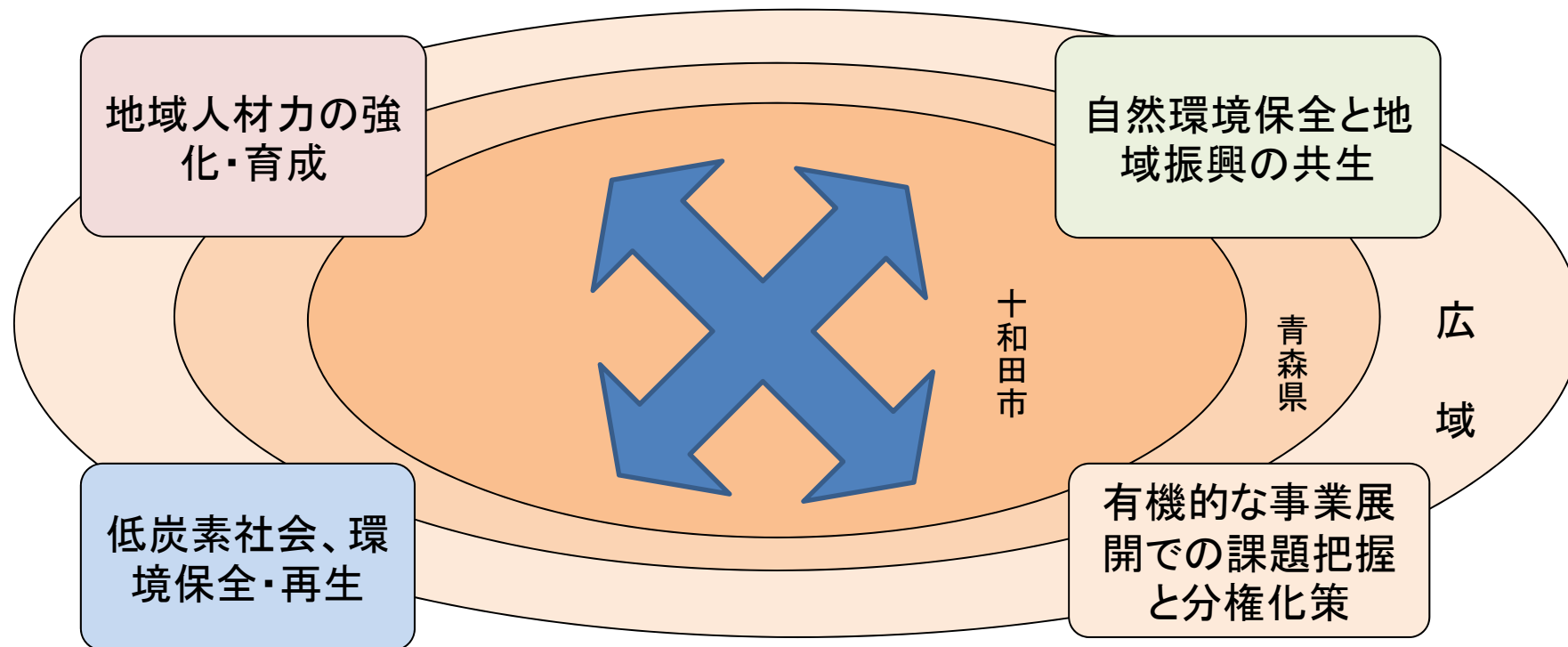
エコツーリズムフォーラムの開催(H22. 9. 26開催)

マイカー規制等の環境保全施策への理解促進

調査事業に対する課題の抽出等について

実施事業の総括と課題の把握

検討テーマそれぞれの課題抽出とこれらを有機的に関連させた方策を検討することにより新たな地域振興の方策の掘り起こしを行う。



「緑」中心に据えた地方分権の方向性